保管用
よくお読みください
保証書別途

取扱説明書

シャワー用車いす
ＫＳ12

● 目　次 ●

ご参考	1
安全に関するご注意	2
1.同梱部品の確認	6
2.安全ラベル	7
3.各部名称	8
4.お使いになる前に	9
5.各部の操作方法及び主な使用方法	10
6.転倒防止金具の取付方法	13
7.仕様	14
8.お手入れの方法	15
9.保管についてのお願い	15
10.保守・点検	16
11.製品記録	17
12.保証	18

このたびはカワムラサイクルの車いすをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードしていただけます（http://www.kawamura-cycle.co.jp/product/manual.htm）。

※ご使用になる前に必ずお読みください。また、必要なときにいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

KAWAMURA 株式会社カワムラサイクル

[製品の特徴・使用目的]

この商品は、入浴・シャワー用車いすです。

●この車いすは入浴（室内）用に設計されています。
●搭乗者の体を洗う事を目的としています。浴槽につけてのご利用を目的としておりません。
●この商品は、一人乗り用です。
●この商品は、座シートと背シートの着脱ができます。
（入浴時には必ず、座シートと背シートを取付けてご使用ください。）

[ご 参 考]

◆入浴がもたらすプラス効果

入浴は寝たきりのお年寄りにとって、単に体を洗って清潔にするだけでなく、次にあげるようなさまざまな心身へのプラス効果も期待できます。

・気分転換とリラックス
・皮膚のかゆみの減少や床ズレの改善・予防
・夜間に熟睡しやすくなる
・食欲の回復

などがあります。

◆入浴は体調を確認してから行ってください。

入浴は、医師の入浴許可があることが条件です。
入浴前に血圧や体温などを看護士が確認してから、入浴してください。

安全に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

[表示マークの説明]

※正しい取扱いに関する必要事項をシンボルマークで表示しています。

⚠ 警 告	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
⚠ 注 意	取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
⊘ 禁 止	してはいけないことを示しています。
❗ 必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。

⚠ 警 告

⊘ 禁 止

●この車いすは、入浴（室内）用に設計されています。平らな場所以外では、ご使用にならないでください。

●座シート及び背シートは絶対に取付けてご使用ください。

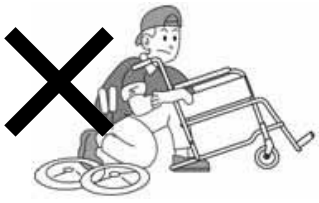
●前ハンドルを水平にしたまま立ち上がらないでください。

●本来の用途以外の目的で使用しないでください。特に、浴室内ではすべって非常に危険です。
また、介助者は車いすに乗って介助しないでください。

●倒れ掛かるような急激な座り方はしないでください。また、座シート部以外に腰かけないでください。
転倒または壊れてケガをする恐れがあります。

●車いすを火気に近づけないでください。
シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど危険です。
熱湯消毒についても同様です。

●勝手に改造・分解しないでください。
強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故の原因になりますので、絶対に改造・分解しないでください。
本来の装着品を外してのご利用も改造の対象となります。



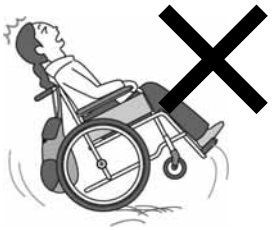
⚠ 警 告

禁 止

●複数の人数で乗らないでください。
この車いすは、一人乗り用です。二人以上で使用すると破損・事故の原因となります。

●押手に寄りかかったり、歩行補助として使用しないでください。

●背もたれに重いものを引っ掛けないでください。転倒の原因となります。



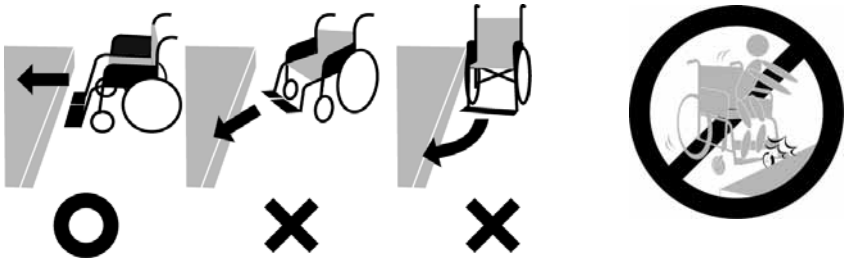
●移乗の際は、介助者がしっかりと搭乗者を支えて行ってください。
転倒する恐れがあります。転倒防止の措置を必ずとってください。

●車いすに乗り降りする際、一時停止する際は、必ず足踏みブレーキをかけて車いすが固定されていることを確認してください。

●大きな段差のある場所・階段では使用しないでください。

●段差を乗り越えるときは前のめりになりすぎたり、前輪を浮かせすぎたりしないでください。転落・転倒の原因となります。

●発進するときや段差を乗り越えるときには、前輪が真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。
斜めに進入したり、キャスタタイヤが斜めになった状態で発進すると段差を乗り越えられなくなったり、キャスタが破損して事故の原因となる恐れがあり大変危険です。



●可動部に指や手を挟まないようにしてください。ケガの原因となります。

●車いすでの走行中は、身体を乗り出さないでください。
車いすが不安定になり危険です。

●車いすに座ったまま強い前傾姿勢をとらないでください。
車いすに座ったまま前方の地面に置いてある物を拾うと、車いすごと転倒し大変危険です。

⚠ 注 意

必ず守る

●重度者の介護には、必ず二人以上の介助者が付き添ってください。

●介助者は、車いすの機能と操作をよく理解し、介助を行ってください。

●搭乗者の心身の状況、症状を充分考慮し、適切な介助を行ってください。

●石鹸やシャンプーを使用した時は、水またはお湯でフレーム、シートに付いた石鹸成分を必ず洗い流してください。

●車いすに乗り降りの際は、必ずステップを畳んでください。
絶対にステップの上に乗って車いすに乗り込んだり、立ち上がらないでください。
転倒の原因となります。

●急発進、急停車、急な方向転換をしないでください。

●車いす以外の目的に使用しないでください。
物品運搬・踏み台などに使用しないでください。
車いすの上に立ち上がらないでください。

●車いすを持ち上げる場合、足踏みブレーキをかけフレーム下部のパイプをしっかりと支えてください。

●ステップに足を乗せる時は、片足ずつ乗せてください。
両足同時に乗せると転倒の原因になることがあります。

●走行中は、足を必ずステップの上に乗せておいてください。
足を地面に付けたまま走行したり、ステップから外して走行すると、ステップと地面の間に足が巻き込まれてケガをする恐れがあり、危険です。

●足先やかかとが壁や柱、扉などに衝突しないよう、充分に注意してください。

●部品等が破損したり損傷を受けている場合は、すぐに部品を交換してください。

●傾斜地では、駐車しないでください。
傾斜地では、足踏みブレーキをかけても車いすが動く場合があり、大変危険です。

●石鹸やシャンプーを使用した床面や濡れている床面では、足踏みブレーキをかけても車いすが動く場合があります。充分に気をつけてください。

●車いすを足で支えた状態で止めないでください。
車いすを止める場合は、足踏みブレーキを踏み込みタイヤをロックさせてください。ケガの原因となります。

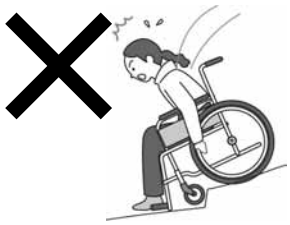
⚠注 意

禁 止

●本説明書に記載されている調整箇所以外の調整を行わないでください。
事故の原因となります。

●車いすを投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。

●タイヤをもって車輪を操作しないでください。
指をはさむなど、大変危険です。



●足踏みブレーキの作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。
足踏みブレーキが変形・破損する恐れがあります。

●下記のようなところに車いすや部品を放置しないでください。
- ほこりの多い場所
- 非常口、火器、消火栓の前
- 直射日光の当たる場所（車内も含む）
- ストーブなど火気を使用し高温になる場所
- 子供がいたずらをする恐れのある場所
- 人通りのあるところ
- 坂道（スロープ）

事故やサビ・破損の原因になります。

●小さなお子様には使用させたり遊ばせたりしないでください。

●温泉やプールなどの金属に影響を与える成分を含んでいる場合は、ご使用にならないでください。

必ず守る

●ご使用前には各部を点検してください。
車いすは“動くもの”ですから、長時間のご使用等により劣化が生じます。
ご使用前の点検を励行し、異常が見つかったら直ちにご使用を中止してください。

●車いすにバリなどがないかを確認してください。
衝突等により金属･樹脂部にバリなどが発生することがあります。ケガの原因となりますので、充分ご注意ください。

●介助者は、搭乗者が車いすに安全に座れているかを確認してから操作してください。

●車いすの乗り降りや移乗など車いすが不安定になりやすいときには、必ず二人以上の介助者が付き添ってください。

●安定した姿勢で座ってください。
座面深くに座ってください。左右にかたよらずに座ってください。
また、介助者は、搭乗者が安定した姿勢で座っていることを確認してください。

●皮膚の弱い方のご利用の際には、充分ご注意ください。

⚠ 注 意	
必ず守る	●肘掛けは、上げた状態でご使用ください。 降ろしたまま使用すると転倒や思わぬケガの原因となります。 ●肘掛けに腕を載せたまま、肘掛けを降ろさないでください。 ●ステップが障害物に接触しない位置で使用してください。 ●足ベルトの面ファスナーに糸くず、汚れなどが付いたときは取り除いてください。 取り除かないと、面ファスナーの接着力が弱くなり、事故の原因となります。

なお、この取扱説明書は、イラストが一部実車と異なる場合があります。

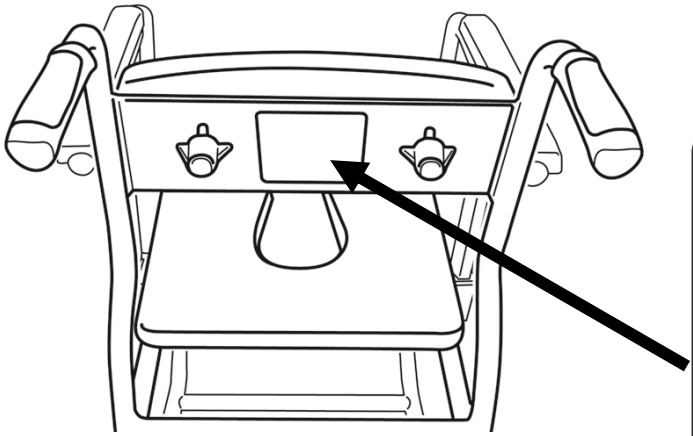
1.同梱部品の確認

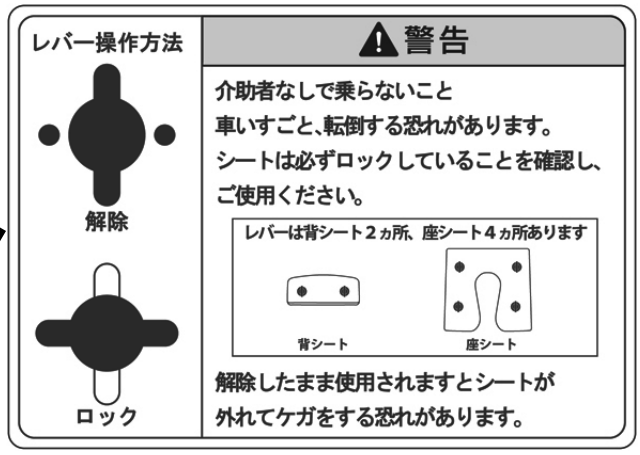
本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

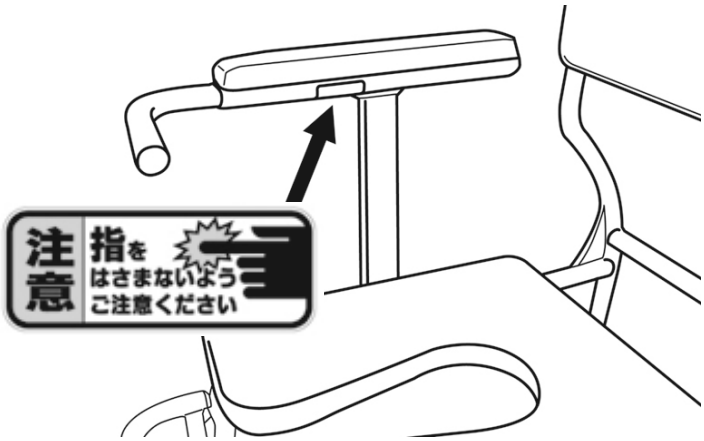
- 取扱説明書　　1冊
- 保証書はがき　　1枚
- 工具（4mm六角レンチ）　　1個

2.安全ラベル

- 取扱い上の重要な事項を記載した安全ラベルが貼ってあります。
- 安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。
- 安全ラベルを汚したり、はがしたりしないでください。







3.各部名称

①押手（手押しハンドルグリップ）	介助者が車いすを移動させる際に握る部分です。
②肘掛け（アームサポート）	移乗しやすくなるよう上下できます。（上下式）
②-1 肘掛けスライドピン	肘を上下させる際に使います。
③前ハンドル	ご利用の際に握っていただくと安全です。
④脚部（フットレッグサポート）	ステップ板を取り付けるフレームです。
④-1 足ベルト（レッグサポート）	足が後ろに落ちないように支えます。
④-2 スイングアウトレバー	脚部をスイングアウトする際、取り外す際に使います
⑤ステップ板（フットサポート）	足を乗せる板です。
⑥背シート（バックサポート）	背部がよりかかる場所です。
⑦座シート	座る場所です。
⑧前輪（キャスタ）	自在に方向転換できる小車輪です。
⑨後輪（主輪）	主輪です。
⑩足踏みブレーキ	車いすを駐車するときに使います。
⑪転倒防止金具	後方への転倒を防止する為の部品です。ご使用時には必ず取付けてください。

4.お使いになる前に

車いすを使用する前に、安全のため各部の点検を行ってください。
長期間使用を続けると、劣化が生じます。
衝突等でバリが生じることもあります。皮膚の露出が多い状態で使用するため、しっかりと点検を行ってください。
異常や不具合が見つかったらただちにご使用を中止してください。

★装着品の確認

- 座シート、背シートはしっかりと固定されていますか？
- ステップ板はしっかりと取付けられていますか？
- 転倒防止金具がしっかりと装着されていますか？

★足踏みブレーキの確認

- 足踏みブレーキは正しく作動しますか？
- 足踏みブレーキをかけた状態で主輪が回転しませんか？

★肘掛け

- 正しく作動しますか？
- キズや亀裂等はありませんか？

★脚部

- ステップ板がパタパタしていませんか？
- キズや亀裂等はありませんか？

★全体的に

- ガタつきはありませんか？
- まっすぐに走りますか？
- 各部ボルトやナットが緩んでいませんか？

★介助者へ

- お風呂場では、石鹸やシャンプーを使用するため、非常にすべりやすくなっています。
  搭乗者はもちろん介助者もすべる恐れがあります。
  ご利用の際には充分ご注意ください。

万が一、ケガや事故が起きた際には、早急にお買い上げの販売店へご連絡ください。

消費生活用製品安全法の改訂により、製造メーカーは被害を拡大させないためにも早急な対応が求められております。

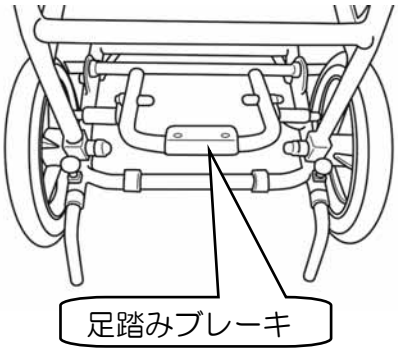
5.各部の操作方法及び主な使用方法

★足踏みブレーキの操作方法

●移乗する際、浴室内で使用する際には必ず足踏みブレーキをかけてください。

＜足踏みブレーキをかけるとき＞
足踏みブレーキを下に踏んでください。

＜足踏みブレーキを解除するとき＞
足踏みブレーキを足の甲などを使って上に
持ち上げてください。

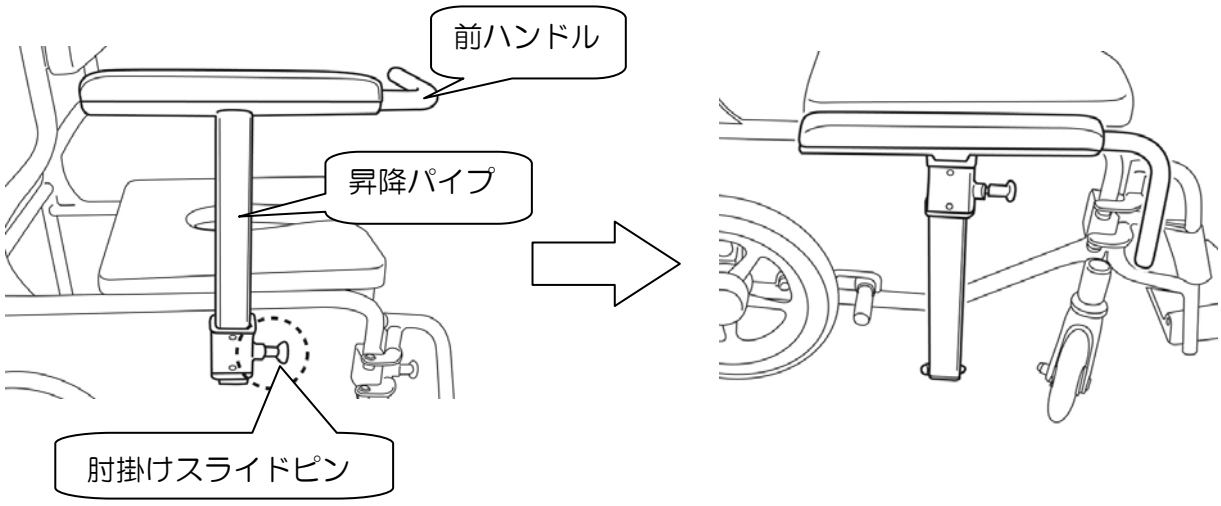


⚠ 警 告

必ず足踏みブレーキをかけてから、お乗りください。（車いすが動き、転倒の原因となります。）

★肘掛けの操作方法

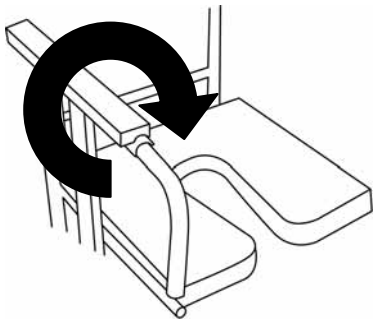
●移乗する際は肘掛けを下まで降ろしてください。



＜肘掛けを下ろす時＞
肘掛けを下ろす時には前ハンドルを外側へ回転させて右図のようにしてください。
肘掛けスライドピンを引き、肘掛けを下ろします。
その時は手を離さず肘掛けを持ちながら下ろしてください。

＜肘掛けを上げる時＞
肘掛けを上方向に引っ張り上げ、肘掛けスライドピンがロックされる所まで持ち上げてください。
その時ロックされたかどうかパイプを上下させ、固定されていることを確認してください。

●前ハンドルを使用する場合



搭乗者が座位保持する時や体を洗う時などにご使用ください。

＜操作方法＞
図の状態から肘掛けの前ハンドルを内側へ回転させます。
図の位置に戻す時は前ハンドルを外側へ回転させます。

必ず守る

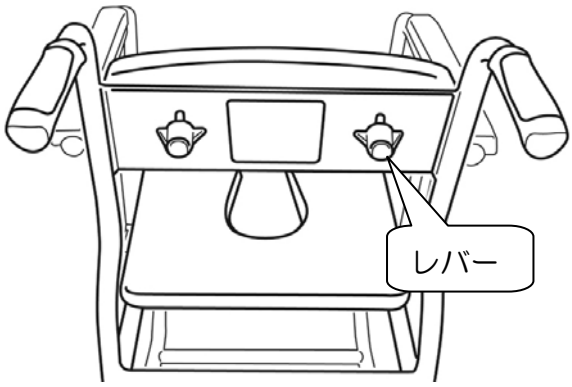
座位保持ができない搭乗者は、肘掛けを降ろすと転倒の恐れがあります。介助者の方は搭乗者の身体を支えて操作してください。
肘掛けを下に降ろす際に手をはさまないように注意してください。

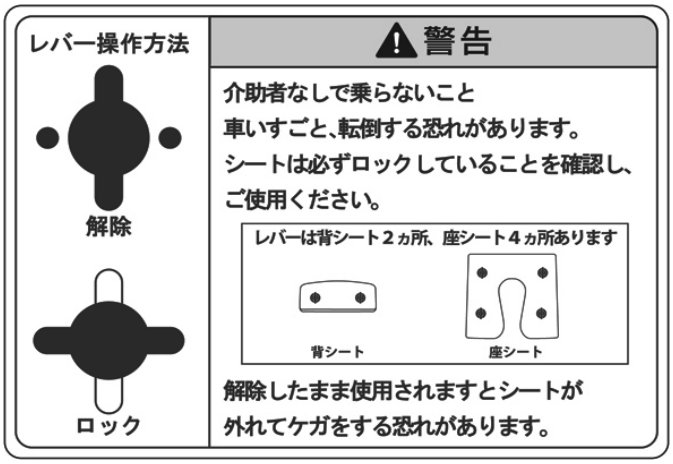
★座シート・背シートについて

●座シート・背シートは、取外すことができます。

〈シート取付けるとき〉
① シート裏面に付いているレバー位置を本体の座面及び背の穴位置に合わせ差し込みます。
② レバーを引っ張り 90° 回転させ、レバーの突起が本体の小さな穴 2 個に入ったことを確認します。
③ これでロック状態となり、使用可能となります。

〈シートを取外すとき〉
取付手順の逆の動作を行うと取外せます。





警 告

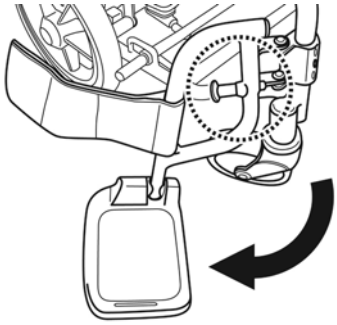
●座及び背シートは確実に取付け、固定（ロック）できたことを確認してからご使用ください。
座及び背シートを取付けないと、フレーム部に体が触れケガをする恐れがあります。

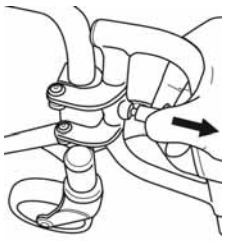
★脚部について

＜スイングアウトする場合＞

★スイングアウトするとき

［外に開く］

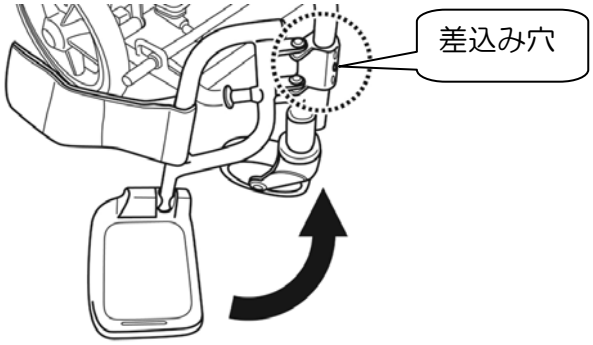




スイングアウトレバーを引くと、ロックが解除されます。

① 足踏みブレーキをかけます。
② 足ベルト中央部の面ファスナーを外します。
③ スイングアウトレバーを引いて固定ロックを解除し、外側に廻します。

［元に戻す］



① 足踏みブレーキをかけます。
② 脚部を内側に廻して元の位置に戻します。
③ スイングアウトレバーが差込み穴に収まっていることを確認してください。
④ 足ベルト中央部の面ファスナーをしっかりと貼り合わせます。

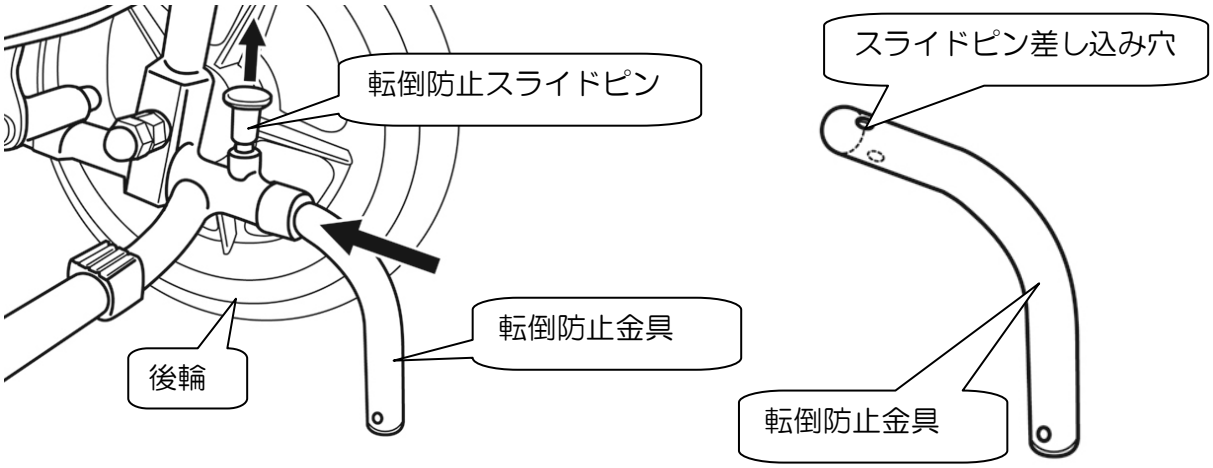
⚠ 警 告

●乗り降りの際には、必ず足踏みブレーキをかけて、車いすを固定させてください。固定させないと車いすが動いて危険です。
●足は、必要以上に上げないでください。上げ過ぎると、転倒の原因となります。
●症状に応じて介助者は二人以上必要です。介助者一名では、転倒等の事故になる恐れがあります。搭乗者の身体から目を離さず、手を離さないでください。
●両足を一度に降ろさないでください。一度に降ろすとバランスを崩し転倒の原因となります。

6.転倒防止金具の取付方法

＜転倒防止金具を取付ける場合＞

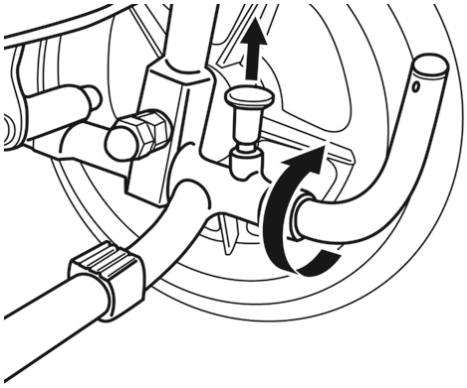
1） 後輪の内側後部に転倒防止金具を差し込みます。
2） 転倒防止スライドピンを引き上げながら転倒防止金具を押し込み、転倒防止金具の差し込み穴にスライドピンを固定させてください。
3） 転倒防止金具を動かし、転倒防止スライドピンが穴に差し込まれていることを確認してください。



転倒防止金具通常位置

＜大きな段差を乗り越える場合＞

1） 転倒防止スライドピンを引き上げたまま、転倒防止金具を１８０°廻し転倒防止金具の差し込み穴にスライドピンを固定させてください。
2） 転倒防止金具を動かし転倒防止スライドピンが穴に差し込まれていることを確認してください。
3） 段差乗り越え後は必ず通常位置に戻してください。



7.仕　様

品名・名称	標準仕様・規格
座幅　（mm）	３９０
前座高　（mm）	４５０
後座高　（mm）	４２０
レッグ長さ　（mm）	３６０・３８０・４００
シート奥行　（mm）	３８０
背もたれ高　（mm）	３７０
肘掛け高　（mm）	２５０
全高　（mm）	８５０
全長　（mm）	９１５
全幅　（mm）	５３０
重量　（kg）	１４．３
フレーム材質	アルミ合金
後輪	１２ｉｎ樹脂ホイール・ＰＵタイヤ
前輪	KS用５ｉｎ ニューソフトキャスタ ネジ込式
キャスタ車輪	５ｉｎ ニューソフトキャスタ
ヨーク	ＫＳ用　５ｉｎ 樹脂ヨーク
背シート	着脱式ＥＶＡ　グリーン/イエロー
座シート	着脱式ＥＶＡクリあり　グリーン/イエロー
肘掛け	上下落とし込み式
肘当て	A.スタンダードパッド
脚部	スイングアウト式（着脱可）
ステップ板	m-2　黒色
駐車ブレーキ	足踏みブレーキ
ハンドグリップ	タイプ６　反射板なし
転倒防止金具	ＫＳ１２用

※記載の重量や寸法は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

8.お手入れの方法

★金属部分（フレーム）

凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびり着いた汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。
ご使用後は必ず乾燥させてください。

★樹脂（プラスチック）部

樹脂部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

★シート類

シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。
座・背シートは取り外せますのでご使用後は干して乾燥させてください。ぬれたまま放置しますと、カビの原因になります。ご使用の際は必ず座・背シートを取り付けてください。
取り外したままのご使用はたいへん危険ですので絶対におやめください。

＜汚れがひどいとき＞

●汚れがとれにくい場合は、中性洗剤を用いてください。その後、乾燥させてください。
●しみは、柔らかいブラシを用いて取り除いてください。
●洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。

⚠ 注 意

●中性洗剤以外を使用しないでください。
中性洗剤以外を使用した場合変質・変色・傷みの原因となります。

●シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。
変質・変色・傷みの原因となります。

●たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
傷みの原因となります。

⃠ 禁 止

●熱湯やオゾンで洗浄しないでください。故障・変質・変色の原因となります。
●絶対に座・背シートを取り外して使用しないでください。

9.保管についてのお願い

車いすはお手入れの後、安全な場所に保管してください。

⚠ 注 意

●下記のようなところに車いすを放置しないでください。
- **ほこりの多い場所**
- **非常口、火器、消火栓の前**
- **直射日光のあたる場所（車内も含む）**
- **子供がいたずらをする恐れのある場所**
- **人通りのあるところ**
- **坂道（スロープ）**
- **ストーブなど火気を使用し高温になる場所**

事故やサビ・破損の原因になります。

10.保守・点検

～～　一ヶ月に一度は安全点検を行ってください!!　～～

★足踏みブレーキはしっかり効きますか？

もし異常がございましたら、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★変な音がしませんか?

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかをご確認してください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

★四点接地していますか？

前輪二輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。
四点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。直ちにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★まっすぐ進みますか？

平地で車いすを左右均等な力で押してください。自然に曲ってしまう場合、どこかが歪んでいる可能性があります。原因となっている箇所の修理・交換を行ってください。

★ネジの緩みはありませんか？

ガタがある場合は、ネジの緩みや脱落が考えられます。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐに緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★車輪やキャスタはしっかり固定されていますか？

車輪を留めているボルト、キャスタを留めているボルトは緩んでいませんか？緩んでいると使用中突然車輪やキャスタが外れて転倒するなど大変危険です。充分ご確認の上、しっかりと締めてください。

★洗浄の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

- 中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。また、熱湯での洗浄はしないでください。
- シンナーやベンジン・アルコールなどの揮発性のものは使用しないでください。
- たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
- オゾン消毒はしないでください。ゴム材料の収縮などの原因になります。
  また、変質・変色・傷み・割れの原因となります。

⚠ 注 意

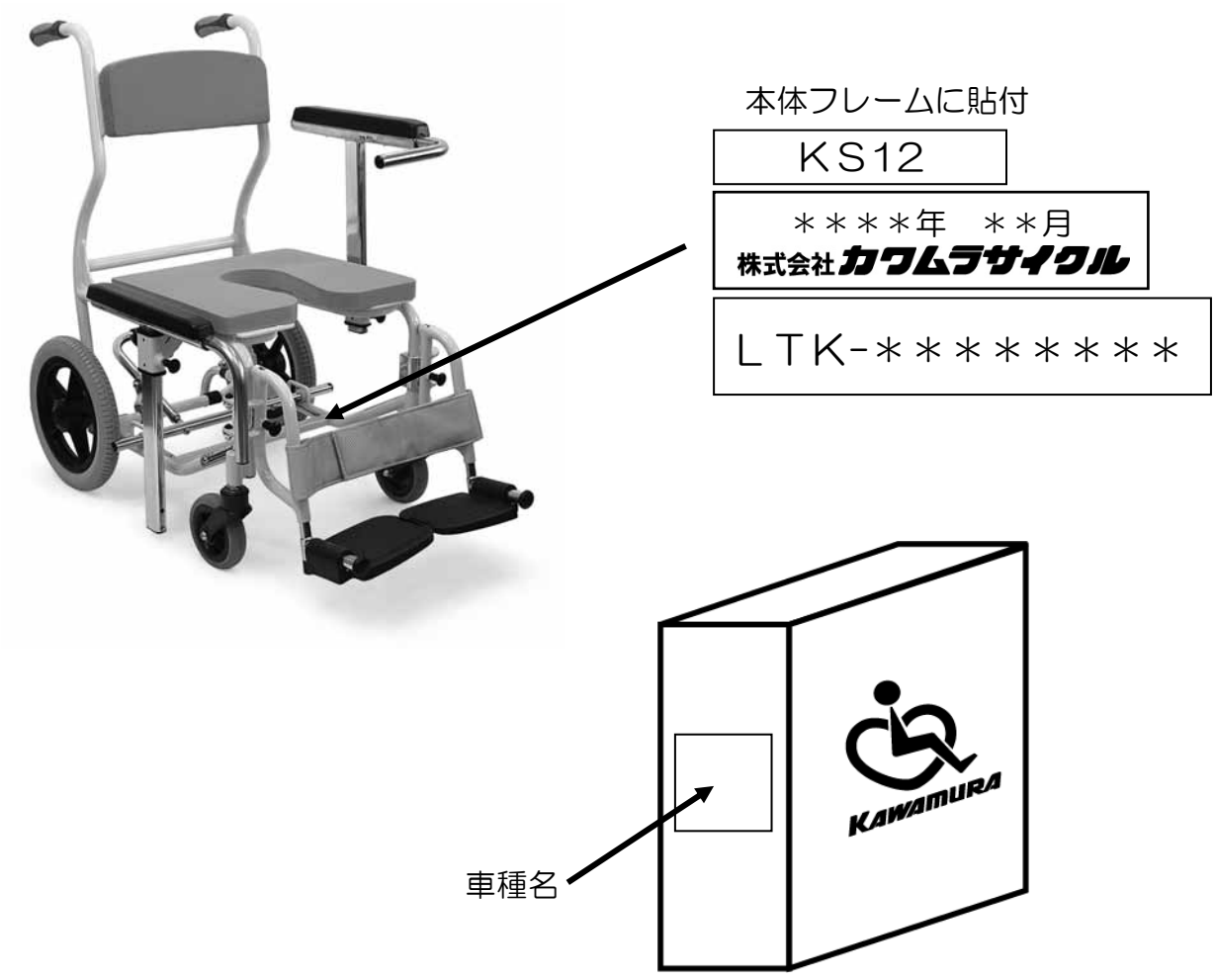
●スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
●異常が見つかったら、直ちにご使用を中止して販売店へご相談ください。

11.製品記録

アフターサービスなどを的確に受けるため、製造番号を記録しておいてください。
車体番号は本体フレームに貼り付けられています。

車　　種	ＫＳ１２
製　造　月	年　　月
製造番号	ＬＴＫ-

＜シール貼付位置＞



地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。

12.保証

弊社の定める保証とは、正常な使用状態において、故障が生じた場合に限り、無償にて修理を行うことをお約束するものです。

★保証書

この商品には保証書を別途添付しております。

返送用登録はがきに所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へご返送いただきご登録ください。

※ご登録がない場合は保証対象外となりますのでご注意ください。

★保証期間

お買い上げ日より 1 年間です。（消耗部品は含みません。）

★保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

★消耗部品

・前輪キャスタ車輪のみ　　・背、座シート

★保証の適用除外となる場合

（ａ）ご使用による消耗品および取扱不注意による破損
　例）タイヤの磨耗、シートの破損等
（ｂ）地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
（ｃ）お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
（ｄ）保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損
（ｅ）弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
（ｆ）一般に車いすが走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
（ｇ）製品の本来の使用目的にそぐわない使用による故障破損
（ｈ）取扱説明書に従わずして生じた故障破損
（ｉ）取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障
（ｊ）保証書をご返送いただいていない未登録の製品
（ｋ）日本国外でご使用の場合

★補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、５年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

★本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡しください。

★一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。

※異常や不具合が見つかったらご使用を中止して、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

株式会社カワムラサイクル

■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■仙台サービスセンター	〒982-0023	宮城県仙台市太白区鹿野 3-1-1	TEL022-746-9540
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野 2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町１-3-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18 マックスビル 5 階	TEL06-6479-2055
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2820
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原１-18-3	TEL092-882-4722

■神戸工場　■神戸第二工場　■いなみの工場

本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。

2013.12 版